

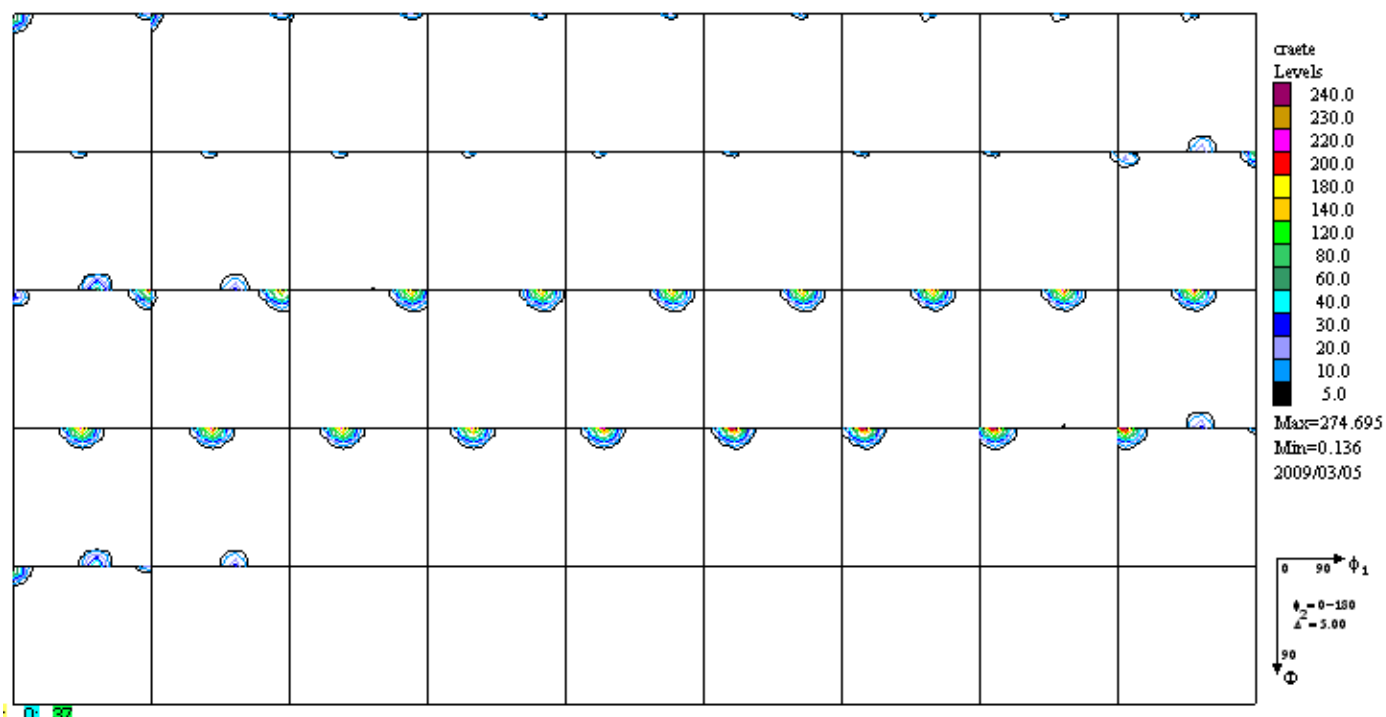
ODF解析におけるOrthorhombicの扱い

アプリケーションによって、解析パラメータの設定の方法が異なり、扱いによっては全く別の結果になります。LaboTexの格子定数指定は $a < b < c$ の制限があります。異なった与え方をすると別の結果になります。今回、LaboTexのModellingでODFを作成し、PFをExportし、同一極点図をLaboTex, TexToolsで処理を行った。

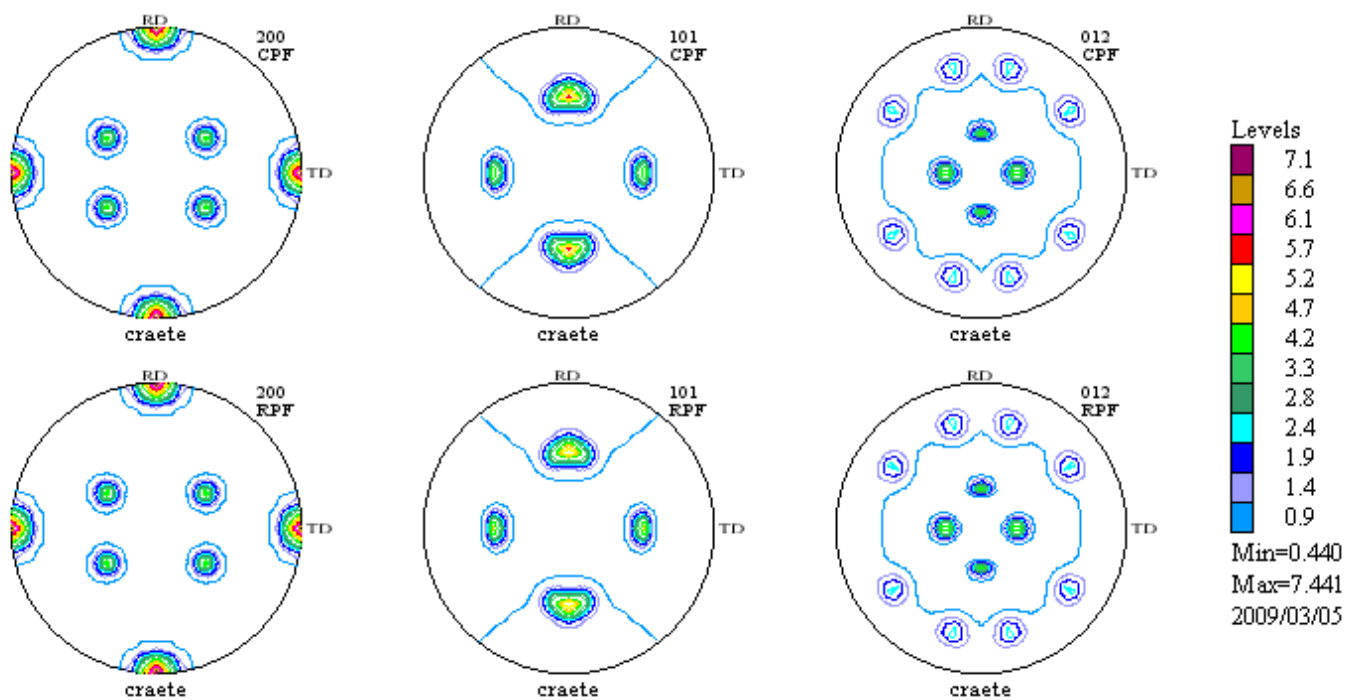
2009年03月05日

HelperTex

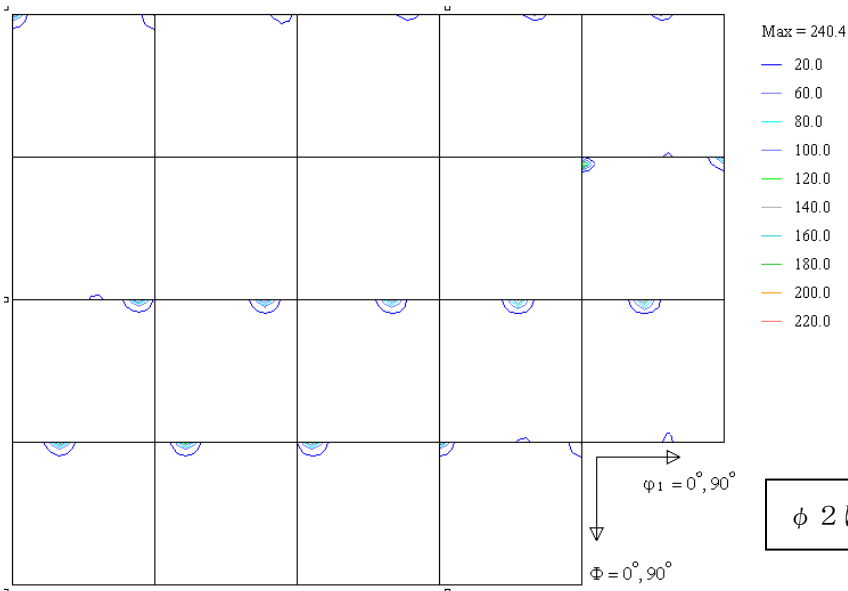
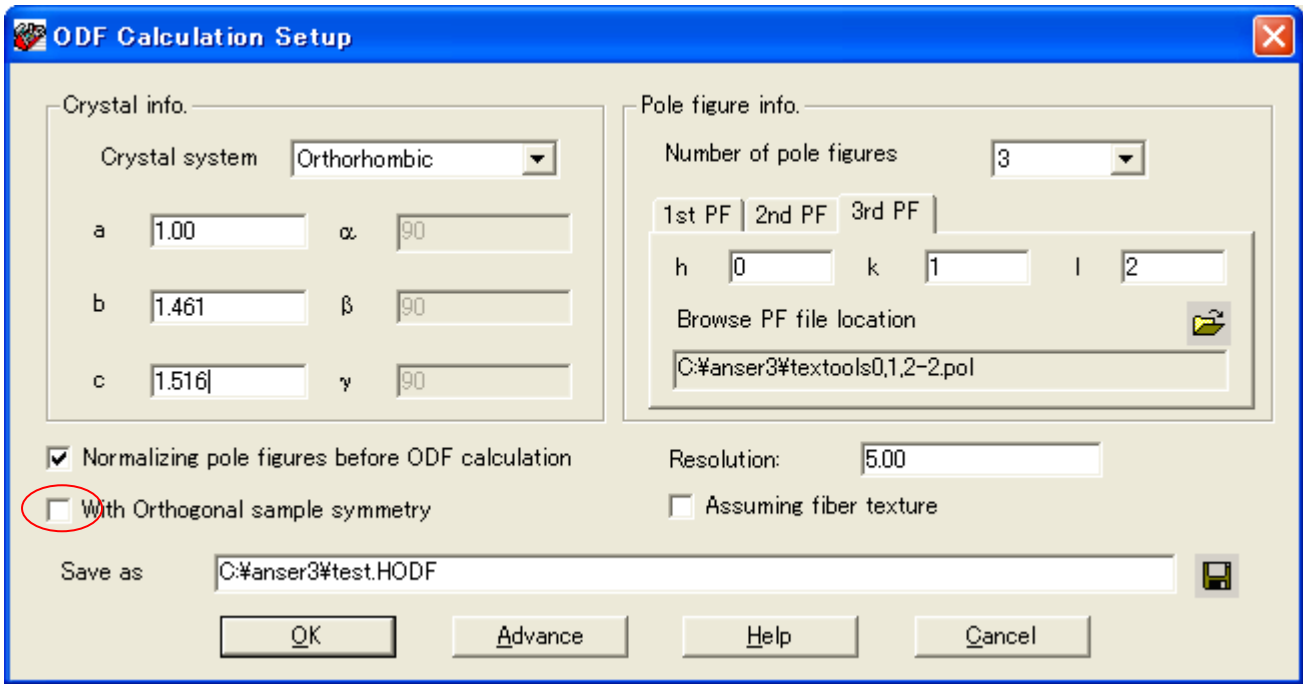
LaboTexの結果 (ϕ_2 は5度ステップ)



CPFは入力極点図、RPFはODF計算後の極点図



TextToolsの結果



ϕ_2 は 10 度ステップ

